

ものづくりの裏側 vol.02

2025.6-7



Q 紙づまりはなぜ起きるの？

紙づまりの原因には、湿気や静電気が関係しています。これは商業用の印刷機でも、オフィスの複合機でも同じです。雨の日など湿度が高いと紙が水分を含みやすく、逆に乾燥した日には静電気が発生しやすくなります。紙の状態が悪くなると、紙同士がくっついてスムーズに送られず、詰まりやすくなります。

Answer



株式会社マルニ
工務部製本課
O.K.さん

Q 紙づまりを防ぐには？

Answer



紙を使う前に空気を含ませるように軽くさばくと、紙同士が離れて給紙がスムーズになります。こうしたひと手間で、紙づまりを防ぐことができます。

Q 誰でも使える機械ですか？

Answer



男女問わず使える機械です。重い紙もリフトで持ち上げるので、体に負担なく作業できます。マルニでは印刷課・製本課のスタッフが毎月トレーニングを行い、誰もが同じレベルで扱えるようにしています。

Q 印刷会社ではどうさばいているの？

Answer



紙に風を送り込んでさばき、静電気も取り除く「高積紙揃機」を使っています。紙を右から左にスライドするとき風を通し、静電気も同時に取り除きます。この様に仕立てた紙を印刷機に通すと、紙がスムーズに流れるので、印刷トラブルを防ぐことができます。



工務部製本課
O.K. さん (2014年入社)

無線綴じ機をメインに、高積機、折機、中綴じ機、コレクター、マーブル機など、さまざまな機械を使いこなす。短時間勤務ながら、マルチな戦力として現場で活躍中。

Interview 02

ものづくりの裏側で考えていることは？

子育てと仕事、どちらも大切に

子育てと仕事の両立のため、6時間の時短勤務をしています。子どもの急な体調不良などで休むこともあり、周囲に迷惑をかけていないかと心配になることもあります。それでも、職場の仲間が理解を示してくれ、働きやすい環境にとても助けられています。

勤務時間が限られているため、固定の業務にこだわらず、人が足りない工程や作業が多い工程を手伝うなど、柔軟に動けるよう意識しています。さまざまな作業や製品に関わることで、新しい発見もあり、楽しく取り組んでいます。

機械を使うだけでなく、 守るための知識を

昨年、「自主保全士2級」の資格を取得しました。機械オペレーターとして、日々使う機械をより良い状態で使い続けるための知識を深めたいと

思ったのがきっかけです。学んでみて改めて、故障やトラブルを防ぐ“保全”の大切さに気づきました。今では、機械の音や汚れ、油の状態などにも以前より敏感になり、異常に早く気づけるようになりました。今後は1級取得にもチャレンジし、より高いレベルで品質を守っていきたいと思っています。

紙だから届く情報がある

私自身、情報収集にはネットを使うこともありますが、広く情報を届けるには、紙媒体のほうが優れていると感じています。例えば、たまたま目にしたチラシで「これが安い！」と知ると、知らなかった情報の発見に得した気分になります。

自分から調べないと得られない情報に比べ、紙は“届ける力”があると思います。手元に紙が届けば、興味がなくてもつい目を通してしまうことがあります。そうした“きっかけ”をつくれるのが紙の魅力です。これからも、紙の強みを活かして、お客様の手にしっかり届く製品を作っていきたいと思っています。

あなたの「作りたい」を お手伝い！

〔印刷物〕

- 会報・広報誌
- 冊子・パンフレット
- チラシ
- フライヤー
- ポスター
- 名刺・カード
- はがき・圧着はがき
- 封筒
- 伝票・帳票
- 商品券
- 記念誌
- 情報誌
- 偽造防止印刷
- 自費出版

〔デジタル制作〕

- ウェブサイト
- SNS 広告

〔屋外広告〕

- 看板・サイン
- のぼり・横断幕

〔ノベルティ〕

- オリジナルメモ帳
- オリジナルノート
- カレンダー
- クリアファイル
- ふせん・シール
- うちわ

〔パッケージ〕

- 紙箱
- 包装紙・紙袋
- ビニールバッグ
- エコバッグ

〔各種サービス〕

- 編集・原稿作成
- 写真撮影
- イラスト作成
- ロゴ作成
- 仕分け・配送
- 宛名印字
- 封入封緘
- アンケート集計

